

1. 卒業要件の見方

2011～2018年度入学者

【理学科・生物学専修】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

要件を満
たすこと。
34単位を満
たすこと。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単
位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数
(124～134単位)を修得しても卒業不可となります。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法			
		内訳	計					
教育学部 共通科目	人文系	4	12	16	◇人文系 数理情 と。 ◇所定単 16単位			
	社会系	4						
	自然系	—						
	数理情報系	—						
	総合系	—						
	体育系	—						
外国語科目	外国語A	基礎	4	16	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単 位、「 計6単 位は、本 ◇外国語 B			
		コミュニ ケーション演習	2					
		ツール	—					
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)					
		初級						
		中級						
上級	—							
その他の外国語	—							
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	16	—	◇生物学 し、合			
		2年	21					
		3年	22					
		4年	12					
	専門 選択科目	A群	12			34	45	◇生物学 単位、 ◇所定単 45単
		B群	20					
		C群	2					
②《卒業所定単位数》		134		◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計123(127 ～131)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない 範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英 語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単 位数》の修得が必要となる。				

【上限単位数】

科目区分ごとの、卒業必要単位数に算入できる
上限単位数。この例では、「共通科目」は
16単位まで卒業単位数に算入されますので、
仮に共通科目で20単位修得しても、4単位
分は算入されません。
体育系は2単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】

卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語
レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても
卒業要件を満たしません。

TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得する
ことで、英語卒業要件を満たすことも可能で
す。その場合英語科目の履修は必要なくなり
ますが、卒業必要単位数(124～134単位)
は変わりませんので、この分を他の科目区分
から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の
英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請
方法に注意が必要です。(→「2. その他の
注意事項」)

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。(例:「General Tutorial English (中級)」は教育学部では「初級」の扱いとなります。)

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名	所定	既得	算入
教育学部共通科目			
人文系	4	6	6
社会系	4	2	2
自然系		0	0
数理情報系		0	0
総合系		0	0
小計	12	8	8
体育系		0	0
小計		8	8
外国語科目			
外国語A	6	6	6
<中国語(基礎)>	4	4	4
<中国語(コミュ基礎)>	2	2	2
外国語B		4	4
外国語その他		0	0
小計	6	10	10
一年必修	16	16	16
二年必修	21	13	13
三年必修	22	0	0
四年必修	12	0	0
小計	71	29	29
主・副選択	34	16	16
自由選択科目		0	0
教職課程科目		0	0
小計		0	0
小計		16	0
小計		16	0
小計		22	0
小計		22	0
《上記以外の卒業要件》		0	0
理学科生物学専修A群	12	12	12
理学科生物学専修B群	20	2	2
理学科生物学専修C群	2	2	2
英語卒業要件(中級以上)	8	4	4
総合計	134	101	63

【《上記以外の卒業要件》】

学科専攻専修によって定められた卒業要件
生物学専修の場合、以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

- ① 専門選択科目 A群から 12 単位修得
- ② 専門選択科目 B群から 20 単位修得
- ③ 専門選択科目 C群から 2 単位修得
- ④ 英語卒業要件

【所定・既得・算入】

「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位数に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位数に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご確認ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【理学科・生物学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法	
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	12	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系については、グローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り卒業単位の算入することができる。	
	社会系	4			
	自然系	—			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。	
		コミュニ	2		
		語演習	—		
	外国語B (英語)	基礎	(4~8)		
		初級			
		中級			
上級	—				
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	16	73	◇生物学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計73単位を修得すること。
		2年	23		
		3年	22		
		4年	12		
	専門 選択科目	A群	12	34	
		B群	20		
C群		2			
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目		—	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。	
	他学部科目		—		
他箇所 設置科目 ※	他大学科目		—	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
	自由選択科目 (全学部対象科目)		—		
教職課程科目※ (教職に関する科目のみ)		—		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		125 (129~133)			
②《卒業所定単位数》		134		◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計123(127~131)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4~8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。	

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計8単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位数に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位数非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。手続期間は春学期末・秋学期末の15週目、16週目の期間です。手続方法については、毎学期掲示や教育学部ホームページで案内します。

【学部で指定する期限】

- 3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
- 9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上
TOEFL (iBT)	73点以上
実用英語技能検定 (英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	4単位～12単位※
外国語科目	《外国語A》4単位、《外国語B》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》16単位及び《選択科目》から8～16単位

※生物学専修の学生は以下の科目を履修することができません。

「線型代数入門 (数理の窓から眺める線形構造と変換の世界)」「微積分入門 (数理の窓から眺める現象のモデリングの世界)」「動物の機能Ⅰ (神経系、循環系)」「動物の機能Ⅱ (ホルモンによる調節)」「環境の生物学」「細胞機能の生物学」「宇宙の物理学Ⅰ」「反応の化学」「廃棄物処理と化学」

◇専門選択科目の履修

・専門選択科目 (A群)

12単位以上修得してください。なお、「化学Ⅰ」「物理学Ⅰ」「数学Ⅰ」から2科目8単位以上の修得を必須とします。

・専門選択科目 (B群)

「生化学Ⅱ」「細胞生物学Ⅱ」「分子生物学Ⅱ」「分子生理学Ⅱ」「生態学Ⅱ」「脳科学Ⅱ」「発生学Ⅱ」「植物生理学Ⅱ」を履修するためには、それぞれの選択科目Ⅰを (例えば、生態学Ⅱを履修するためには生態学Ⅰ) をそれぞれ修得済みであるか、あるいは科目登録していることが必要です。

・専門選択科目 (C群)

「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位以上を必ず修得してください。

◇2・3年生に対する注意

「卒業研究」(専門必修4年)を履修するためには、卒業に必要な134単位中90単位以上を修得し、「生物学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ」「生物学基礎実験Ⅰ、Ⅱ」「動物形態学・実験」「植物形態学・実験」をすべて修得し、「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位を修得していることが必要です。2・3年必修の実験・実習科目の単位修得には特に注意をしてください。

◇ゼミ

「生物学専門演習」(4年必修)のクラスは「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

【理学科・生物学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法	
		内訳	計			
教育学部 共通科目	人文系	4	12	—	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて16単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。	
	社会系	4		—		
	自然系	—		—		
	数理情報系	—		—		
	総合系	—		—		
	体育系	—		—		2
外国語科目	外国語A	基礎	4	16	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて16単位まで卒業単位の算入される。	
		コミュニ 語演習	2			6
		ツール	—			
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)			—
		初級				
中級						
上級	—					
その他の外国語	—	—	—			
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	16	71	◇生物学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計71単位を修得すること。 ◇生物学専修設置の選択科目A群から12単位、B群から20単位、C群から2単位の合計34単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて45単位まで卒業単位の算入される。	
		2年	21			
		3年	22			
		4年	12			
	専門 選択科目	A群	12	34		
		B群	20			
C群		2				
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—	11	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計11単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。	
他学部科目	—	—				
他箇所 設置科目 ※2	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	—	11	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、11単位まで卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
		—	—	—		
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)		—	—	11	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、11単位まで卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		123 (127～131)				
②《卒業所定単位数》		134			◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計123（127～131）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。	

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計8単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入(随意科目)の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上
TOEFL (iBT)	73点以上
TOEIC	690点以上
実用英語技能検定(英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	4単位～12単位※
外国語科目	《外国語A》4単位、《外国語B》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》16単位及び《選択科目》から8～16単位

※生物学専修の学生は以下の科目を履修することができません。

「線型代数入門(数理の窓から眺める線形構造と変換の世界)」「微積分入門(数理の窓から眺める現象のモデリングの世界)」「動物の機能Ⅰ(神経系、循環系)」「動物の機能Ⅱ(ホルモンによる調節)」「環境の生物学」「細胞機能の生物学」「宇宙の物理学Ⅰ」「反応の化学」「廃棄物処理と化学」

◇専門選択科目の履修

- ・専門選択科目(A群)

12単位以上修得してください。なお、「化学Ⅰ」「物理学Ⅰ」「数学Ⅰ」から2科目8単位以上の修得を必須とします。

- ・専門選択科目(B群)

「生化学Ⅱ」「細胞生物学Ⅱ」「分子生物学Ⅱ」「分子生理学Ⅱ」「生態学Ⅱ」「脳科学Ⅱ」「発生学Ⅱ」「植物生理学Ⅱ」を履修するためには、それぞれの選択科目Ⅰを(例えば、生態学Ⅱを履修するためには生態学Ⅰ)をそれぞれ修得済みであるか、あるいは科目登録していることが必要です。

- ・専門選択科目(C群)

「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位以上を必ず修得してください。

◇2・3年生に対する注意

「卒業研究」(専門必修4年)を履修するためには、卒業に必要な134単位中90単位以上を修得し、「生物学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ」「生物学基礎実験Ⅰ、Ⅱ」「動物形態学・実験」「植物形態学・実験」をすべて修得し、「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位を修得していることが必要です。2・3年必修の実験・実習科目の単位修得には特に注意をしてください。

◇ゼミ

「生物学専門演習」(4年必修)のクラスは「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

【理学科・生物学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「**所定単位数**」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「**卒業所定単位数**」91単位を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法		
		内訳	計			
専門教育科目	専門 必修科目	1年	16	71	◇生物学専修設置の全必修科目を履修し、合計71単位を修得すること。 (4年配当科目は4年次に履修すること。)	
		2年	21			
		3年	22			
		4年	12			
	専門 選択科目	A群	12	20		◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位数に算入される。
		B群	6			
		C群	2			
《卒業所定単位数》		91				

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・生物学専修学士入学者の年間履修制限単位数は『**50単位**』です。

◇卒業研究

- ・卒業研究は、卒業所定単位数91単位のうち**41単位以上**を修得し、「生物学実験Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ」「生物学基礎実験Ⅰ、Ⅱ」「動物形態学・実験」「植物形態学・実験」をすべて修得し、「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇ゼミ

- ・「生物学専門演習」（4年必修）のクラスは「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

◇専門選択科目の履修

- ・専門選択科目（A群）
12単位以上修得してください。なお、「化学Ⅰ」「物理学Ⅰ」「数学Ⅰ」から2科目8単位以上の修得を必須とします。
- ・専門選択科目（B群）
「生化学Ⅱ」「細胞生物学Ⅱ」「分子生物学Ⅱ」「分子生理学Ⅱ」「生態学Ⅱ」「脳科学Ⅱ」「発生学Ⅱ」「植物生理学Ⅱ」を履修するためには、それぞれの選択科目Ⅰを（例えば、生態学Ⅱを履修するためには生態学Ⅰ）をそれぞれ修得済みであるか、あるいは科目登録していることが必要です。
- ・専門選択科目（C群）
「生態学・実習」または「海洋生物学・実習」のどちらか1科目2単位以上を必ず修得してください。

◇学士入学者への注意事項

- ・専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

1. 卒業要件の見方

2011～2018年度入学者

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

【科目区分・科目系列】

科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

要件を満たす
34単位を
満たすこと。

【所定単位数】

その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単
位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数
(124～134単位)を修得しても卒業不可となります。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法	
		内訳	計			
教育学部 共通科目	人文系	4	12	24	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系を修得すること。 ◇所定単位数24単位を必ず修得すること。	
	社会系	4				
	自然系	—				
	数理情報系	—				
	総合系	—				
	体育系	—				
外国語科目	外国語A	基礎	4	16	◇外国語A「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること。 ◇外国語Bを満了すること。	
		コミュニ	2			
		語演習	—			
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)			—
		初級				
		中級				
その他の外国語	—	—	—			
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	12	—	◇地球科学専攻を履修し、合計単位数と合わせて84単位以上を修得すること。	
		2年	2			
		3年	4			
		4年	12			
	専門選択科目	—	54			84

【上限単位数】

科目区分ごとの、卒業必要単位数に算入できる
上限単位数。この例では、「共通科目」は
24単位まで卒業単位数に算入されますので、
仮に共通科目で26単位修得しても、2単位
分は算入されません。
体育系は2単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】

卒業に必要な外国語Bの単位数。自身の英語
レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても
卒業要件を満たしません。

TOEIC等の外部試験で基準点以上を取得する
ことで、英語卒業要件を満たすことも可能で
す。その場合英語科目の履修は必要なくなり
ますが、卒業必要単位数(124～134単位)
は変わりませんので、この分を他の科目区分
から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の
英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請
方法に注意が必要です。(→「2. その他の
注意事項」)

◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて84
単位まで卒業単位数に算入される。

②《卒業所定単位数》	134	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計102(106～110)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。
------------	-----	--

2. その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。(例:「General Tutorial English(中級)」は教育学部では「初級」の扱いとなります。)

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3. 成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。

1E13A000 さんの成績です。

学籍状態	在学中
判定結果	
外国語	
クラス	A1
発表開始日付	2012年10月30日 09時00分

年度分のみ 全て

科目名	取得年度	学期	単位	成績
◎教育学部共通科目◎				
【人文系】				

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2015年度以降入学の地球科学専修の場合、以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

- ① 専門選択科目 A群から 8 単位修得
- ② 専門選択科目 B群から 6 単位修得
- ③ 専門選択科目 C群から 2 単位修得

※ 専門選択科目所定 40 単位のうち、16 単位は

- ①～③の要件で満たさなければなりません。
- ④ 英語卒業要件

科目区分名	所定	既得	算入
教育学部共通科目			
人文系	4	2	2
社会系	4	4	4
自然系		0	0
数理情報系		2	2
総合系		4	4
小計	12	12	12
体育系		0	0
小計		12	12
外国語A	6	4	4
<中国語(基礎)>	4	4	4
<中国語(コミュ基礎)>	2	0	0
外国語B		4	4
外国語その他		0	0
小計	6	8	8
一年必修	12	12	12
二年必修	2	0	0
三年必修	4	0	0
四年必修	12	0	0
小計	30	12	12
専門教育科目(選択)	54	32	32
自由選択科目		0	0
教職課程科目		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		0	0
小計		2	0
小計		2	0
《上記以外の卒業要件》		0	0
理学科地球科学専修A群	8	8	8
理学科地球科学専修B群	16	16	16
理学科地球科学専修C群	6	0	0
理学科地球科学専修D群	2	0	0
英語卒業要件(初級以上)	8	4	4
総合計	134	66	64

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含まれます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数 ≤ 算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法	
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	4	12	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系については、グローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り卒業単位の算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	—			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	6	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	—		
	外国語B (英語)	基礎	(4~8)	—	
		初級			
		中級			
上級	—				
その他の外国語	—	—	—		
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	14	44	◇地球科学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計44単位を修得すること。 ◇地球科学専修設置の専門選択科目から次の区分により合計16単位以上を修得すること。 1年 A群から選択し 8単位以上 2~3年 B群から選択し 6単位以上 3年 C群から選択し 2単位以上 ◇上記以外の選択科目と合わせて40単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位の算入される。
		2年	14		
		3年	4		
		4年	12		
	専門選択科目	40	—		
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	—	—	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。
他箇所 設置科目 ※	他学部科目	—	—	—	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。
	他大学科目	—	—	—	
	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	—	—	
教職課程科目※ (教職に関する科目のみ)		—	—	—	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		102 (106~110)			
②《卒業所定単位数》		134		◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計102(106~110)単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4~8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。	

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計8単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。手続期間は春学期末・秋学期末の15週目、16週目の期間です。手続方法については、毎学期掲示や教育学部ホームページで案内します。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上
TOEFL (iBT)	73点以上
実用英語技能検定（英検）	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	8単位
外国語科目	《外国語A》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》12単位及び《選択科目A群》から8単位以上
その他	《上記以外の専門選択科目》《オープン科目》《外国語B》など12単位

◇専門選択科目

- ・ 同じ科目で2回不合格となった場合は、それ以降その科目は原則として履修できません。特にA～C群科目では、卒業できなくなることも起こるので注意してください。

◇演習

4年必修の演習科目は必ず「卒業研究」（4年必修）と同じ年度に履修してください。科目は「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

◇卒業研究

「卒業研究」（4年必修）を履修するためには、卒業に必要な134単位中90単位以上を修得し、地球科学専修専門必修科目1・2・3年次分の単位（32単位）をすべて修得し、かつ専門選択科目のうちA～C群から選択した科目を16単位以上修得していることが必要です。

◇卒業に向けて

4年必修「卒業研究（8単位）」と「演習（4単位）」には、相当な労力と時間がかかるので、これらの必修科目以外の単位は、3年生までに取得しておくことが望まれます。したがって、2年次までは年間44単位を確実に取得するように履修してください。

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	12	24	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて24単位まで系列に係わらず卒業単位の算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位の算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	—			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	16	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて16単位まで卒業単位の算入される。
		コミュニ	2		
		語演習	—		
	外国語B (英語)	基礎	(4～8)		
		初級			
		中級			
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	14	44	◇地球科学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計44単位を修得すること。 ◇地球科学専修設置の専門選択科目から次の区分により合計16単位以上を修得すること。 1年 A群から選択し 8単位以上 2～3年 B群から選択し 6単位以上 3年 C群から選択し 2単位以上 ◇上記以外の選択科目と合わせて40単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて70単位まで卒業単位の算入される。
		2年	14		
		3年	4		
		4年	12		
	専門選択科目	40			
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	30	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計30単位まで卒業単位の算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位の算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位の算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位の算入されない科目については、算入することができない。	
他学部科目	—				
他大学科目	—				
他箇所 設置科目 ※2	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	30	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、30単位まで卒業単位の算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	—	—	30	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、30単位まで卒業単位の算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計		102 (106～110)			
②《卒業所定単位数》		134			◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計102(106～110)単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※1. 卒業単位の算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計8単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験 (ITP・IP) も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上
TOEFL (iBT)	73点以上
TOEIC	690点以上
実用英語技能検定 (英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	8単位
外国語科目	《外国語A》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》12単位及び《選択科目A群》から8単位以上
その他	《上記以外の専門選択科目》《オープン科目》《外国語B》など12単位

◇専門選択科目

- ・同じ科目で2回不合格となった場合は、それ以降その科目は原則として履修できません。特にA～C群科目では、卒業できなくなることも起こるので注意してください。

◇演習

4年必修の演習科目は必ず「卒業研究」（4年必修）と同じ年度に履修してください。科目は「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

◇卒業研究

「卒業研究」（4年必修）を履修するためには、卒業に必要な134単位中90単位以上を修得し、地球科学専修専門必修科目1・2・3年次分の単位（32単位）をすべて修得し、かつ専門選択科目のうちA～C群から選択した科目を16単位以上修得していることが必要です。

◇卒業に向けて

4年必修「卒業研究（8単位）」と「演習（4単位）」には、相当な労力と時間がかかるので、これらの必修科目以外の単位は、3年生までに取得しておくことが望まれます。したがって、2年次までは年間44単位を確実に取得するように履修してください。

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の3つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134単位を満たすこと。
- ③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		上限 単位数 ※1	履修方法
		内訳	計		
教育学部 共通科目	人文系	4	12	24	◇人文系から4単位、社会系から4単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から4単位の合計12単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて24単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 但し、体育系についてはグローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り2単位までを卒業単位に算入することができる。
	社会系	4			
	自然系	—			
	数理情報系	—			
	総合系	—			
	体育系	—			
外国語科目	外国語A	基礎	4	16	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を2単位の合計6単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語B（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。 ◇外国語Aおよび外国語B（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて16単位まで卒業単位に算入される。
		コミュニ ケーション 演習	2		
		ツール	—		
	外国語B (英語)	基礎 初級	(4～8)		
		中級			
		上級			
その他の外国語	—				
専門教育科目 (自専修)	専門 必修科目	1年	12	30	◇地球科学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計30単位を修得すること。 ◇地球科学専修設置の専門選択科目から次の区分により合計32単位以上を修得すること。 1年 A群から選択し 8単位以上 1～2年 B群から選択し 16単位以上 2～3年 C群から選択し 6単位以上 3年 D群から選択し 2単位以上 ◇上記以外の選択科目と合わせて54単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて84単位まで卒業単位に算入される。
		2年	2		
		3年	4		
		4年	12		
	専門選択科目	54	84	32単位以上	
専門教育科目 (他学科) (他専修)	専門選択科目	—	30	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計30単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。	
他箇所 設置科目 ※2	他学部科目	—	30	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、30単位まで卒業単位に算入することができる。 なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。	
	他大学科目	—	30		
教職課程科目※2 (教職に関する科目のみ)	自由選択科目 (全学部対象科目)	—	30	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、30単位まで卒業単位に算入することができる。	
①科目区分・科目系列ごとの 「所定単位数」の合計		102 (106～110)			
②《卒業所定単位数》		134			◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計102（106～110）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語4～8単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※1. 卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※2. 科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

《卒業要件・英語》

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

- ① 入学年度の科目登録前に受験する placement test (WeTEC) の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test (WeTEC) 判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
0点 ～ 429点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計8単位
430点 ～ 599点	初級	「初級」レベル以上の科目を計8単位
600点 ～ 719点	中級	「中級」レベル以上の科目を計8単位
720点 ～ 1000点	上級	「上級」レベルの科目を計4単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は卒業所定単位に算入のうえ単位を修得すること。卒業所定単位非算入（随意科目）の場合は、上記要件を満たしたことになる。

- ② 学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。

【学部で指定する期限】

3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで

9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】 下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験 (ITP・IP) も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL (PBT)	536点以上
TOEFL (iBT)	73点以上
TOEIC	690点以上
実用英語技能検定 (英検)	1級

《履修上の注意》

◇1年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	8単位
外国語科目	《外国語A》4単位
専門教育科目	1年配当の《必修科目》12単位及び《選択科目A群》から8単位以上
その他	《上記以外の専門選択科目》《オープン科目》《外国語B》など12単位

◇専門選択科目

- ・同じ科目で2回不合格となった場合は、それ以降その科目は原則として履修できません。特にA～D群科目では、卒業できなくなることも起こるので注意してください。

◇演習

4年必修の演習科目は必ず「卒業研究」（4年必修）と同じ年度に履修してください。科目は「卒業研究」の指導教員をもとに決定されます。

◇卒業研究

「卒業研究」（4年必修）を履修するためには、卒業に必要な134単位中90単位以上を修得し、地球科学専修専門必修科目1・2・3年次分の単位（18単位）をすべて修得し、かつ専門選択科目のうちA～D群から選択した科目を32単位以上修得していることが必要です。

◇卒業に向けて

4年必修「卒業研究（8単位）」と「演習（4単位）」には、相当な労力と時間がかかるので、これらの必修科目以外の単位は、3年生までに取得しておくことが望まれます。したがって、2年次までは年間44単位を確実に取得するように履修してください。

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「**所定単位数**」を満たすこと。
- ②卒業単位の合計で「**卒業所定単位数**」84単位を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法							
		内訳	計								
専門教育科目	専門 必修科目	1年 2年 3年 4年	14 14 4 12	44	◇地球科学専修設置の2015年度以降入学者の全必修科目を履修し、合計44単位を修得すること。 （4年配当科目は4年次に履修すること。） ◇地球科学専修設置の専門選択科目から次の区分により合計32単位以上を修得すること。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>A群</td> <td>8単位以上</td> </tr> <tr> <td>B群</td> <td>6単位以上</td> </tr> <tr> <td>C群</td> <td>2単位以上</td> </tr> </table> ◇上記以外の専門選択科目と合わせて40単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位数に算入される。	A群	8単位以上	B群	6単位以上	C群	2単位以上
	A群	8単位以上									
B群	6単位以上										
C群	2単位以上										
	専門選択科目		40								
《卒業所定単位数》		84									

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・地球科学専修学士入学者の年間履修制限単位数は『**50単位**』です。

◇卒業研究

- ・卒業研究は、卒業所定単位数84単位のうち**34単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇演習

- ・卒業研究および4年必修の演習科目は必ず同じ年度に履修してください。科目は卒業研究の指導教員をもとに決定されます。

◇その他

- ・「地球科学演習」（3年必修）「地球科学実習」「地質調査実習」（3年選択）はWEBで科目登録することができません。履修を希望する場合は、教育学部事務所にて所定の手続きをしてください。

◇学士入学者への注意事項

- ・専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

【理学科・地球科学専修】

《卒業要件》

本専修を卒業するためには、以下の2つの要件を満たす必要があります。

- ①科目区分・科目系列ごとの「**所定単位数**」を満たすこと。
- ②**卒業単位の合計で「卒業所定単位数」84単位**を満たすこと。

科目区分	科目系列	所定単位数		履修方法
		内訳	計	
専門教育科目	専門必修科目	1年 2年 3年 4年	1 2 2 4 1 2	30 ◇地球科学専修設置の2014年度以前入学者の全必修科目を履修し、合計30単位を修得すること。 (4年配当科目は4年次に履修すること。)
	専門選択科目		54	◇地球科学専修設置の専門選択科目から次の区分により合計32単位以上を修得すること。 A群 8単位以上 B群 16単位以上 C群 6単位以上 D群 2単位以上 ◇上記以外の専門選択科目と合わせて54単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位数に算入される。
《卒業所定単位数》		84		

《履修上の注意》

◇年間履修制限単位数

- ・ 地球科学専修学士入学者の年間履修制限単位数は『 **50単位** 』です。

◇卒業研究

- ・ 卒業研究は、卒業所定単位数84単位のうち **34単位以上** を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇演習

- ・ 卒業研究および4年必修の演習科目は必ず同じ年度に履修してください。科目は卒業研究の指導教員をもとに決定されます。

◇その他

- ・ 「地球科学演習」(3年必修)「地球科学実習」「地質調査実習」(3年選択)はWEBで科目登録することができません。履修を希望する場合は、教育学部事務所にて所定の手続きをしてください。

◇学士入学者への注意事項

- ・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
- ・ 学士入学者は外国語A・外国語Bを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。